

秀嶺天

相浦中
学校通信
発行人 宮原
通算 68号
H30.6.1

校訓
今日も、
明るく、
誠実に

命を見つめる強調月間



六月一日は命を見つめる日。十
四年前の大久保小事件。四年前の
高一同級生殺害事件等、佐世保市
ではこれまで悲惨な少年事件があ
りました。もう一度大切な命につ
いて考え、どう生きるかについて

自分の生活を見つめる日で
す。

本日の「命の講話」の概略
を紹介します。

大リーグで大谷翔平選手が
二刀流として大活躍していま
す。かつてアメリカ大リーグ
ではベーブ・ルースと言う選
手が二刀流で大活躍をしてい
ました。ベーブ・ルースは病
気の少年との「約束のホーム
ラン」でも有名です。

今日は、そんなちよつと昔
の大リーグの「ホームラン」
にまつわるお話です。

ある田舎町に住む野球好き
の少年は、小さな頃に事故で
視力を失い、十歳の時、主治
医から、脳の手術をしないと
命を落とす危険があると告げ
られます。少年はある大リー

ガーの大ファンでした。そこで両親
は、この選手に少年を説得してもら
おうと考えます。そして、ついにこ
の選手との面会が実現します。手術
を勧める選手に対し、少年はこう答
えます。

「次の試合、僕のためにホームラン
を打ってくれたら、手術を受ける勇
気が沸いてくると思う」

彼は一瞬戸惑いましたが、約束を
してしまいます。この約束は、すぐ
に全米のメディアに取り上げられま
した。試合当日、少年はラジオの実
況中継に耳をそばだてていました。

ホームランが打てないまま迎えた
彼の最終打席。フルカウントの末、
投手が投げた最後の一球。彼はフル
スイングしましたが、ボールはキャ
ッチャーミットの中へ…。試合終
了。

その時でした。ラジオのアナウン
サーが叫びました。「やりました！
打ちました！大きな打球がスタジア
ムを超えて場外へ。大きな、大きな
ホームランです！」。

嘘はよくないことですが、観客と
アナウンサーの嘘は、ホームラン級
の大きくなって素敵な嘘でした。

今、生きていくことに感謝して、
今を精一杯生きよう！

相中愛を感じる生徒総会

五月二九日生徒総会を開催。

この日のために、生徒会執行部は
念入りの準備を、学級では話し合
いを進めてきました。

生徒会がすすめる年間計画に
は、相中をもっと良くしようとい
う気持ちがかもっています。

また、各学級から出る意見にも
マイナスイメージはほとんどなくブ
ラス思考の発言が多かったことは
大変素晴らしいことです。何より
生徒の相中を愛する気持ちが出て
いたように感じました。

生徒全員で決議した内容を行動
に移してはじめて「本物」になる
ものです。実践を、大いに期待し
ています。



学級の意見をまとめる学級委員